

2012年(平成24年)2月28日(火) NO 47号

K-PUROニュース







【事業所】

■社名■	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
■屋号■	都市防犯プランニング社	e-mail info@k-puro.co.jp
■本社■	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
■千葉支店■	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110



【業務内容】

■機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングにSECOM・ALSOK・GSPのインフラを使用
■防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
■総合メンテナンス事業	消防設備点検・工事からAED設置に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【所属加盟団体】

 (RID2770)川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
 (NPO法人)さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
 (社団法人)千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
 (社団法人)倫理研究所千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
 (内閣府認証 NPO 法人)日本危機管理学総研	http://www.kikikanri.jp/gathering.html/
 (公益財団法人)モロロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【協賛応援団体】

 (財団法人)アイメイト(盲導犬育成)協会	http://www.eyemate.org/
 はやてレスリングプロダクション DREAMERS	http://blog.livedoor.jp/wdream1/
2012年(平成24年)3月24日(土)	新木場1st RING 開場 18:00 試合開始 19:00
WRESTLING DREAMERS 2012 ~SPRING THUNDER~	

ごあいさつ



コップの中に半分の水が入っています。
これを「半分しかない」と見るか、
「半分も入っている」と見るかでその人の心の内面を表しています。
半分しかないと思う人の心は、失望であり、嫉妬であり、怒りです。
半分もあると思える人の心は、希望であり、可能性であり、感謝でもあるのです。

現代の多くの人たちは心の中でいつも不満を抱えています。
「お金がない」「時間がない」「人からの愛情が足りない」「上司または部下からの理解が足りない」・・・
これらの意識が私たちの能力を委縮させています。
自分の中にある「半分しか」という意識を、「半分も」という意識に転換するといかに自分があらゆるものを与えられ、素晴らしい人生を送っていることに気づきます。(小田全宏先生著 抜粋)
ものの見方、考え方、捉え方次第で全く違う結果が生じます。
国、家、精神それぞれの伝統と今自分が置かれている状況に感謝の心を持って生きていきたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

お客様紹介 有限会社ピアツァ 石館 隆 様

石館さんは ALSOK 時代からのお客様で、自宅のホームセキュリティをはじめ、店舗の機械警備および防犯カメラを導入していただいています。

私が独立する際にとっても応援していただいた大切なお客様の一人であり恩人です。(写真左から4番目)



父親が読売新聞の拡張団(プロセールス)をしていた関係もあり、高校生のころから読売新聞販売店でアルバイトをしていました。高校卒業後は予備校生として都内の販売店で新聞奨学生として働きます。

(新聞奨学生とは、働きながら学費の補助を受け、給料も貰える制度)

その後、進学はあきらめ都内数店の販売店で本格的に働き始めました。

当時の小川所長(所長は経営者)には、将来独立して自分の店を持ちたいという希望を明確に説明していたため、

愛のムチの厳しい修行が始まりました。その後店長に上り詰め、本社社員の目に留まります。

8年半に渡る丁稚奉公を終え、当時の小川所長の後押しもあり、北品川に念願の販売店を所長として受持ちます。平成4年、石館さんが28歳の時でした。

しかし、この区域は販売店の誰もがやりたがらない場所。(部数も折込チラシも少ない)

単身者の世帯は増えるけれど、家族世帯が減っていく人口減の地域・・・。

この厳しい区域において、小川所長に教わったことをコツコツと実践し、年々微増ですが部数を確実に増やして行きます。

この地道な活動が本社幹部の目に叶い、平成10年に茨城県の筑波学園北部の経営の打診を受けます。「返事は10分間だけ待つ。」と言われ、きっちり10分後「是非やらせて下さい。」と答えました。

石館さんが独立して6年目の34歳の時です。

この区域は、これからつくばエクスプレスも開通し、周辺の開発も進み人口増が約束された場所です。

誰もがやりたがらない区域と誰もがやりたがる区域の両方を手に入れます。

現代版わらしべ長者と言われる所以です。

「苦労したことは何ですか？」という質問に対し、「特にないな～」と、とにかく細かいことは気にせず、非常に大らかで楽天的な性格の持ち主の石館さん。

ストレスは今まで生きてきた中で特に感じたことがないそうです。

しかし、誤配や遅配の徹底的なミス排除、集金時の気持ちのいいあいさつや対応は最低限のルールとして従業員に徹底させています。

それぞれの業界で伸びている共通点として私なりに感じたことは、とにかく基本

の徹底をしっかりと行い、コツコツを真摯に実践されている企業であることを再認識させられました。



■読売センター北品川(城南読売会)

東京都品川区北品川 1-24-20

電話 03-3471-7723

■読売センター筑波学園北部(茨城南部読売会)

茨城県つくば市沼崎 1715-1

電話 029-848-2011

■石館 隆 社長 ・昭和38年7月生まれ ・東京都板橋区出身 ・趣味は奥様との旅行
社名の由来は、当時大リーグジャースのキャッチャーとして活躍していたマイク・ピアツァから貰ったもの

今月の良い話 Historia 白駒 妃登美さん

人間の生き方には西洋の成功哲学に代表される「目標達成型」とは別に「天命追求型」があるということです。

天命追求型とは将来の目標に縛られることなく、自分の周囲の人の笑顔を何よりも優先しながら、いま、自分の置かれた環境でベストを尽くす。

それを続けていくと、天命に運ばれ、

いつしか自分では予想もしなかった高みに到達するという考え方です。

そこでは、自分の夢だけを叶える for me より、

周囲に喜びや笑顔を与える for you の精神、つまり志が優先されます。

私は天命追求型、目標達成型という視点で歴史を捉えたことはありませんでしたが、

これからお話しするように、天命追求型はまさに日本人が歴史の中で培った素晴らしい生き方であることに、闘病を通してようやく気づいたのです。



天命追求型に生きた歴史上の人物といえば、豊臣秀吉はその好例でしょう。

秀吉は徳川家康、織田信長と比べて大きく違う点があります。

家康や信長が殿様を父に持つのに対し、秀吉は農家に生まれたことです。

農民の子の秀吉が最初から天下統一を夢見たのでしょうか。

通説によると、秀吉は

「侍になるために織田家の門を叩いた」ということになっていますから、

おそらく若き日の秀吉は、天下を取るなど考えてもいなかったに違いありません。

しかし、秀吉の人生はその夢を遙かに超えてしまうのです。

ご存じのとおり、秀吉は最初、信長に“小者”という雑用係の立場で仕えました。

雑用係は、もちろん侍の身分ではありません。

けれども、信長が秀吉を雇い入れた時、きっと秀吉は、農民の自分に目をかけてもらったことに胸を躍らせ、心から感謝したのではないのでしょうか。

だからこそ、たとえ雑用係の仕事にも自分でできる工夫を施したのだと思います。

寒い日の朝、信長の草履を懐に入れて温めてから出した話は有名ですが、

草履一つ出すにも喜んでもらえるようアイデアを加えたのです。

やがて足軽となってからも信長を喜ばせたいという思いは変わらず、一層の信頼を得て侍に、

さらに侍大将、近江国・長浜城の城持ち大名へと登り詰めるのです。

私のことを振り返ると、目標達成に突っ走っていた時は、確かに夢は叶いました。

受験勉強、就職活動、子育て、すべてにビジョンを描き目標を立ててやってきました。

しかし、見方を変えれば夢しか叶わなかったのです。

夢を超えた現実はやってきませんでした。

では、秀吉はなぜ夢を超えることができたのでしょうか。

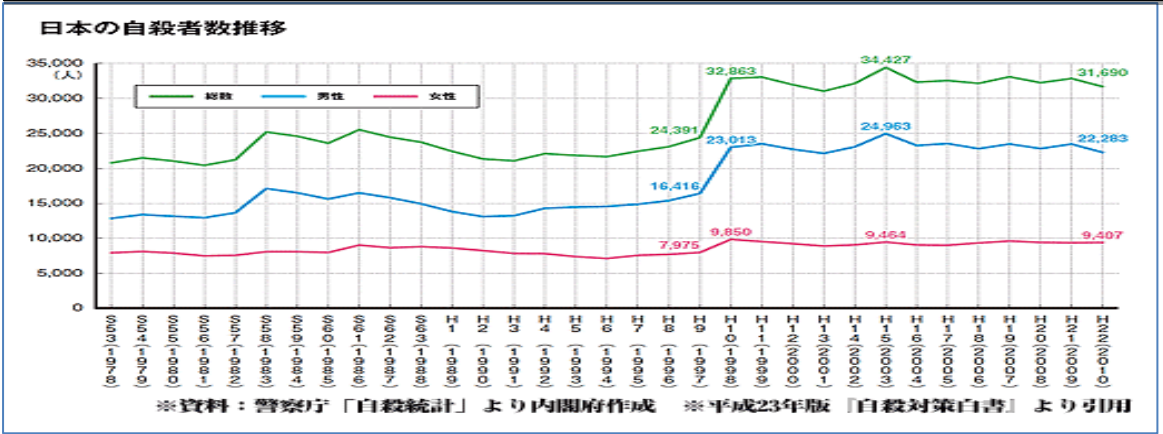
想像するに、秀吉は最初から天下取りなど考えず、いつも“いま、ここ”に全力投球する生き方を貫いたからだと思います。

自分の身の回りの人たちに喜んでもらえることを精一杯やっていった。

その結果、周囲の応援を得て次々と人生の扉が開き、天下人へと運ばれていったのではないのでしょうか。まさに天命追求型の人生だったのです。

(記事提供 到知出版社)

事件ファイル NO47 自殺者数の推移



- 1985 年(S60 年) バブル景気
- 1989 年(H 元年) 4 月消費税 3%導入
- 1993 年(H5 年) バブル崩壊
- 1997 年(H9 年) 4 月消費税 5%導入(グラフが示すように翌年に自殺者数が急増)
- 2008 年(H20 年) リーマンショック
- 2006 年(H18 年) 10 月自殺対策基本法施行
- 2014 年(H26 年) 4 月消費税 8%増税案

プロ太の小話集 NO47 『南国の島』

休みもなく世界を飛び回るモーレツ商社マンの伊藤が大きな商談で南国の島に行きました。するとヤシの木陰で 1 人の若者がのんびりとハンモックに揺られウトウトしています。

伊藤 「君！君のような若い者が昼間から怠けていてはダメじゃないか！
若いうちはもっと仕事を頑張らなければならないのに。」

若者 「仕事を頑張ると何かいいことがあるのかい？」

伊藤 「それは君！頑張れば出世して将来お金もたくさんたまからいいだろう！」

若者 「出世してお金がたくさんたまったら何かいいことがあるのかい？」

伊藤 「それは君！お金持ちになったら引退した後、
南国の島にでも行って仕事をせずにのんびり暮らせるだろうが！」

若者 「おじさん……。俺はすでに誰にも迷惑を掛けずに毎日のんびり暮らしてるよ?！」

伊藤 「……。」



////////////////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

消費税が初めて導入された平成元年は好景気だったため、翌年の自殺者は減少しています。しかし、消費税が 5%に増税された翌年の平成 10 年には自殺者が 3 万人超に急増しました。そして平成 26 年にはこの不況下での 8%増税予定・・・。

これ以降に自殺者がさらに増加することがあれば増税が原因による自殺が明確となるでしょう。統計の回り方や自殺と事故死の区別が難しく統計数値が正しいかわかりませんが、これだけの数が増加していることは現在の世の中や人の心が病んでいることの表れです。

この病は自分自身の心の持ちようでいかようにも治ります。コップの中の水は半分もあるのですから・・・。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)